

質問5. 「加美町総合計画」（計画期間：平成17年度～平成26年度）の6つの政策体系について

「Ⅰ. 自然と共生する地球にやさしいまち」について

「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」について

「Ⅲ. 安全で快適に暮らせるまち」について

※ 「Ⅳ. 魅力・やりがいでにぎわいのあるまち」について

(9) 地場産業の振興、観光産業の充実、企業の誘致等の取組についての満足度

(10) 農林商工業の施策について（良かった・良くない）

(11) 農林・商工の分野で、重点的に実施すべき施策について

「Ⅴ. だれもが楽しく学べるまち」について

「Ⅵ. 住民と行政の協働による自立するまち」について

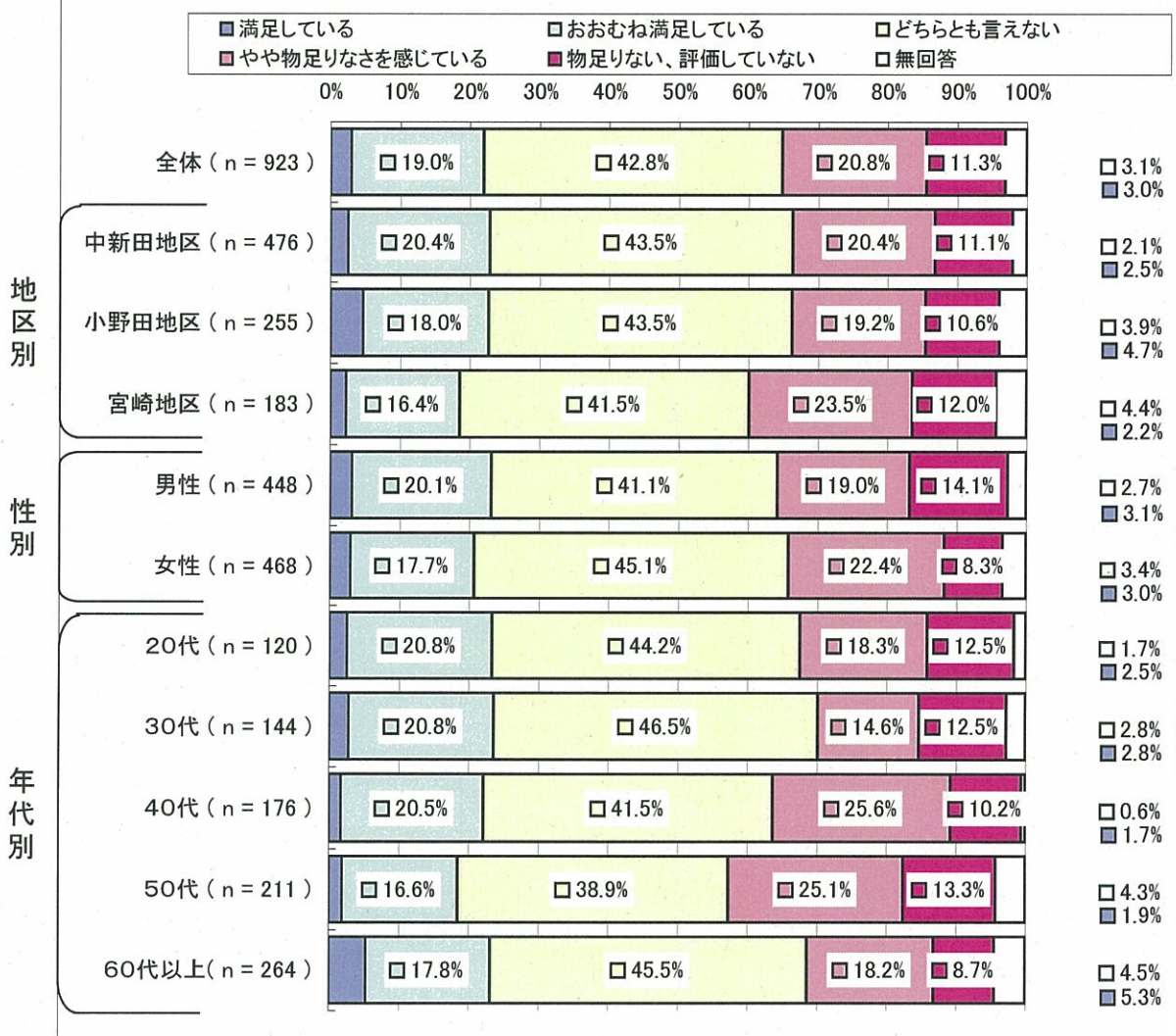
「IV. 魅力・やりがいでにぎわいのあるまち」について

(9) 町では、地場産業、農林水産、商工業の振興を図りつつ、観光産業の充実と企業の誘致、雇用の創出を促進してきました。これまでの取組みについて、どのように感じていますか？

全体 (n = 923)

	満足している	おおむね満足している	どちらとも言えない	やや物足りなさを感じている	物足りない、評価していない	無回答	計
回答数(人)	28	175	395	192	104	29	923
割合	3.0%	19.0%	42.8%	20.8%	11.3%	3.1%	100.0%

図表 質問5. (9)



【全体集計】では、「どちらともいえない」と回答した人が42.8%と最も多く、最も少ないのは「①満足している」の3.0%でした。「満足している」「おおむね満足している」と回答した人は合わせて22.0%で、「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した人を合わせた32.1%より10.1%下回りました。

【地区別集計】では、「満足している」「おおむね満足している」と回答した人を合わせると、中新田地区22.9%、小野田地区22.7%、宮崎地区は18.6%でした。「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した人を合わせると、中新田地区31.5%、小野田地区29.8%、宮崎地区35.5%でした。

【性別集計】では、「満足している」「おおむね満足している」と回答した人を合わせると、男性は23.2%、女性は20.7%、「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した人を合わせると、男性は33.1%、女性は30.7%でした。

【年代別集計】では、「満足している」「おおむね満足している」と回答した人を合わせると最も多い年代は30代の23.6%、次いで20代の23.3%、60代以上の23.1%、40代の22.2%、50代のは18.5%でした。「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した人を合わせると最も多い年代は、50代の38.4%、次いで、40代の35.8%、20代の30.8%、30代の27.1%、60代以上の26.9%でした。

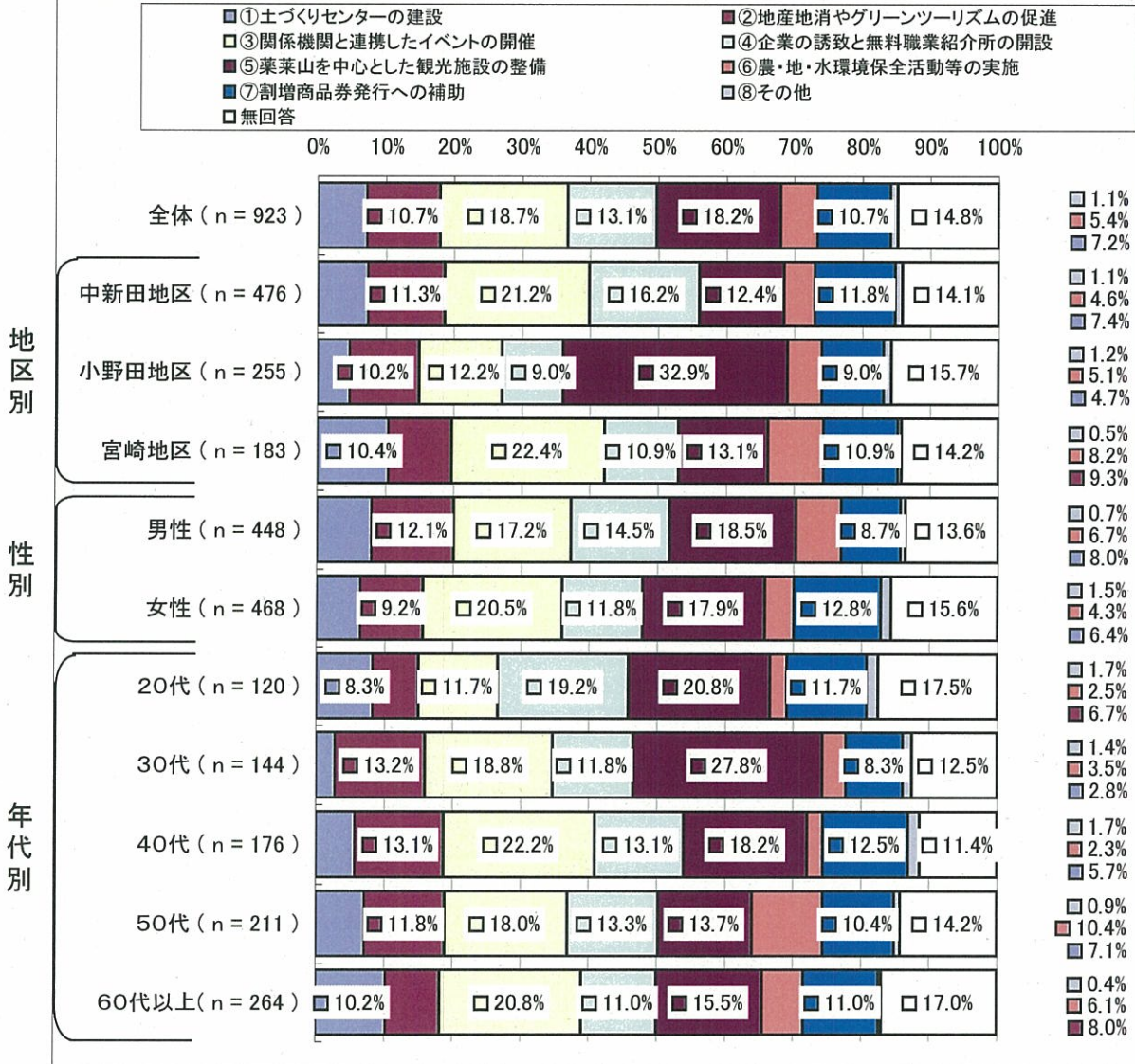
「IV. 魅力・やりがい・にぎわいのあるまち」について

(10) 町が行ってきた農林商工業の施策で、良かったと思う事業、良くなかったと思う事業を一つずつ選んでください。(良かった・良くない) 『良かった』

全体 (n = 923)

	①土づくりセンターの建設	②地産地消やグリーンツーリズムの促進	③関係機関と連携したイベントの開催	④企業の誘致と無料職業紹介所の開設	⑤薬業山を中心とした観光施設の整備	⑥農・地・水環境保全活動等の実施	⑦割増商品券発行への補助	⑧その他	無回答	計
回答数(人)	66	99	173	121	168	50	99	10	137	923
割合	7.2%	10.7%	18.7%	13.1%	18.2%	5.4%	10.7%	1.1%	14.8%	100.0%

図表 質問5. (10)「良かった」



【全体集計】では、「③関係機関と連携したイベントの開催」が18.7%で最も多く、次いで「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」の18.2%、「④企業の誘致と無料職業紹介所の開設」の13.1%でした。

【地区別集計】で最も多いのは、中新田地区と宮崎地区は「③関係機関と連携したイベントの開催」（中新田地区21.2%、宮崎地区22.4%）、小野田地区は「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」（32.9%）でした。次いで多いのは、中新田地区は「④企業の誘致と無料職業紹介所の開設」（16.2%）「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」（12.4%）、小野田地区は「③関係機関と連携したイベントの開催」（12.2%）、「②地産地消やグリーンツーリズムの促進」（10.2%）、宮崎地区は「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」（13.1%）、「④企業の誘致と無料職業紹介所の開設」（10.9%）と「⑦割増商品券発行への補助」（10.9%）でした。

【性別集計】で最も多いのは、男性は「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」（18.5%）、女性は「③関係機関と連携したイベントの開催」（20.5%）でした。次いで多いのは、男性は「③関係機関と連携したイベントの開催」（17.2%）、「④企業の誘致と無料職業紹介所の開設」（14.5%）、女性は「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」（17.9%）、「⑦割増商品券発行への補助」（12.8%）でした。

【年代別集計】では、20代は、「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」（20.8%）、次いで「④企業の誘致と無料紹介所の開設」（19.2%）、「③関係機関と連携したイベントの開催」（11.7%）と「⑦割増商品券発行への補助」（11.7%）、30代は「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」（27.8%）、次いで「③関係機関との連携したイベントの開催」（18.8%）、「②地産地消やグリーンツーリズムの促進」（13.2%）、40代は「③関係機関と連携したイベントの開催」（22.2%）、「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」（18.2%）、「②地産地消やグリーンツーリズムの促進」（13.1%）と「④企業の誘致と無料職業紹介所の開設」（13.1%）、50代は「③関係機関との連携したイベントの開催」（18.0%）、「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」（13.7%）、「④企業の誘致と無料職業紹介所の開設」（13.3%）、60代以上は「③関係機関との連携したイベントの開催」（20.8%）、「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」（15.5%）、「④企業の誘致と無料職業」（11.0%）と「⑦割増商品券発行への補助」（11.0%）でした。

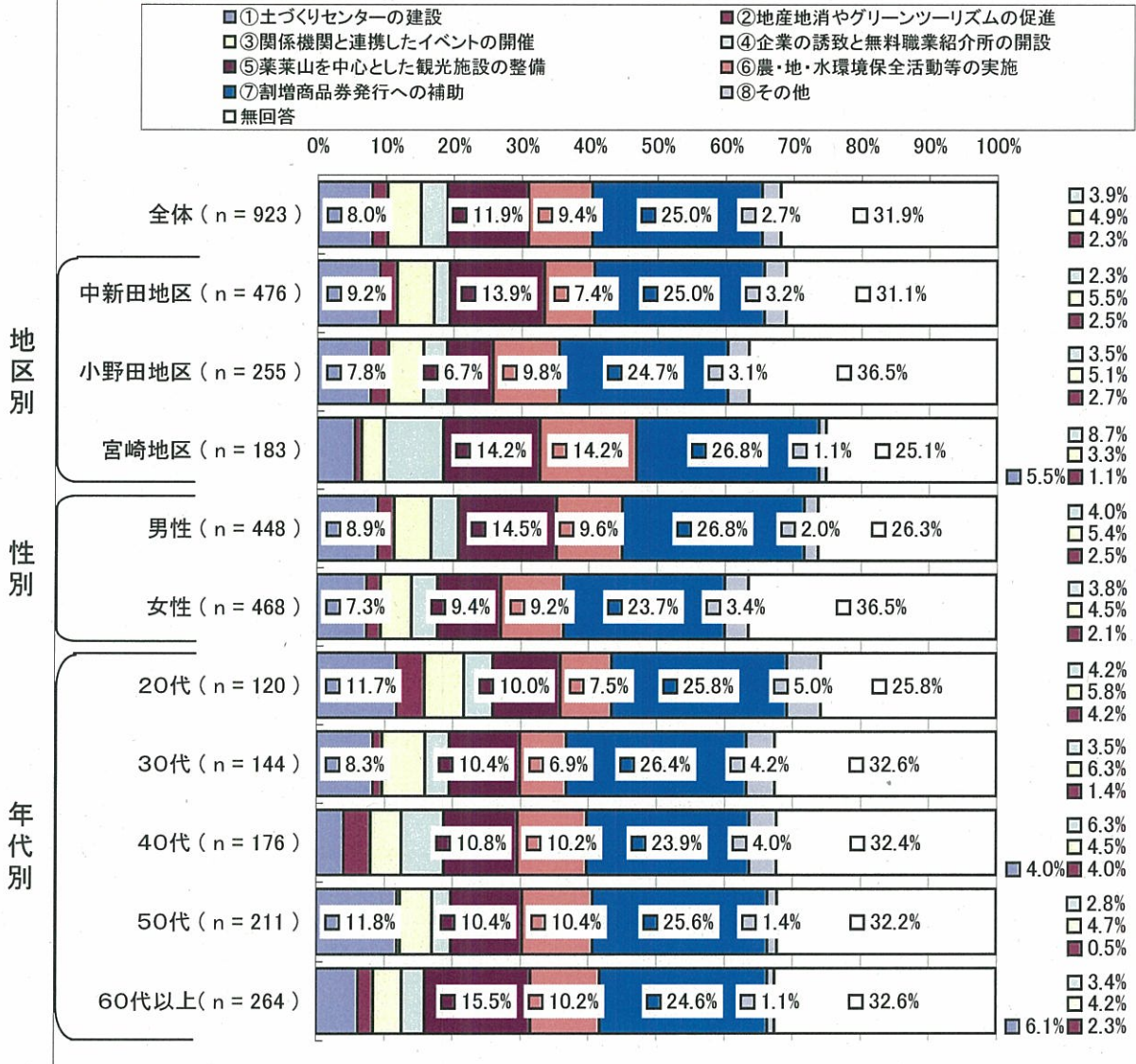
「IV. 魅力・やりがい・にぎわいのあるまち」について

(10) 町が行ってきた農林商工業の施策で、良かったと思う事業、良くなかったと思う事業を一つずつ選んでください。(良かった・良くない)  
『良くない』

全体 (n = 923)

	①土づくりセンターの建設	②地産地消やグリーンツーリズムの促進	③関係機関と連携したイベントの開催	④企業の誘致と無料職業紹介所の開設	⑤薬業山を中心とした観光施設の整備	⑥農・地・水環境保全活動等の実施	⑦割増商品券発行への補助	⑧その他	無回答	計
回答数(人)	74	21	45	36	110	87	231	25	294	923
割合	8.0%	2.3%	4.9%	3.9%	11.9%	9.4%	25.0%	2.7%	31.9%	100.0%

図表 質問5. (10)「良くない」



【全体集計】では、「⑦割増商品券発行への補助」が25.0%で最も多く、次いで「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」が11.9%、「⑥農・地・水環境保全活動等の実施」の9.4%でした。「⑧その他」では、「何を実施しているのかわからない」、「イベントや建設をしても人が集まらない」が等が挙げられています。

【地区別集計】では、3地区とも「⑦割増商品券発行への補助」が最も多く、中新田地区は25.0%、小野田地区は24.7%、宮崎地区は26.8%でした。次いで多いのは、中新田地区では「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」(13.9%)、「①土づくりセンターの建設の整備」(9.2%)、小野田地区では「⑥農・地・水環境保全活動等の実施」(9.8%)、「①土づくりセンターの建設の整備」(7.8%)、宮崎地区では「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」(14.2%)と「⑥農・地・水環境保全活動等の実施」(14.2%)でした。

【性別集計】では、「⑦割増商品券発行への補助」が最も多く、男性は26.8%、女性は23.7%でした。次いで、「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」(男性14.5%、女性9.4%)、「⑥農・地・水環境保全活動等の実施」(男性9.6%、女性9.2%)で、1～3番目の順位は全体集計と同じでした。

【年代別集計】では、20代は「⑦割増商品券発行への補助」(25.8%)が最も多く、次いで、「①土づくりセンターの建設」(11.7%)、「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」(10.0%)、30代は「⑦割増商品券発行への補助」(26.4%)が最も多く、次いで、「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」(10.4%)、「①土づくりセンターの建設」(8.3%)、40代は「⑦割増商品券発行への補助」(23.9%)が最も多く、次いで、「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」(10.8%)、「⑥農・地・水環境保全活動等の実施」(10.2%)、50代は「⑦割増商品券発行への補助」(25.6%)が最も多く、次いで、「①土づくりセンターの建設の整備」(11.8%)、「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」(10.4%)と「⑥農・地・水環境保全活動等の実施」(10.4%)、60代以上は「⑦割増商品券発行への補助」(24.6%)が最も多く、次いで、「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」(15.5%)、「⑥農・地・水環境保全活動等の実施」(10.2%)の順でした。全ての年代で「⑦割増商品券発行への補助」が最も多い回答でした。

「IV. 魅力・やりがい・にぎわいのあるまち」について

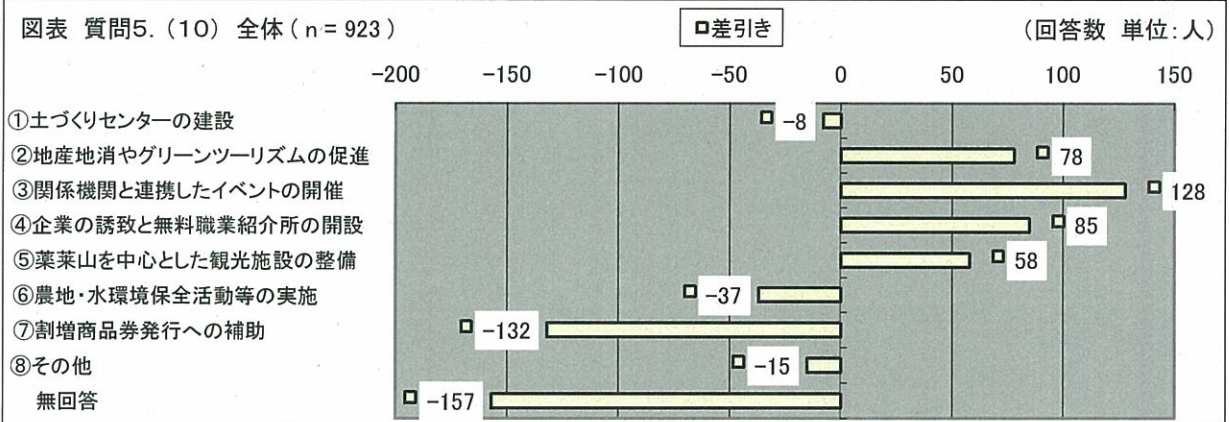
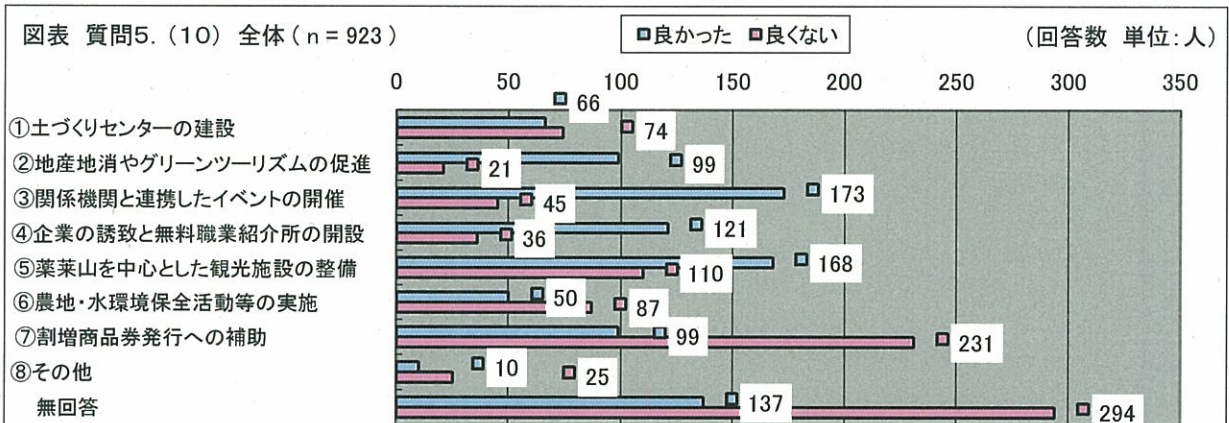
(10) 町が行ってきた農林商工業の施策で、良かったと思う事業、良くなかったと思う事業を一つずつ選んでください。(良かった・良くない)

『差引き』(『良かった』の回答数 - 『良くない』の回答数)

全体(n=923)

(回答数 単位:人)

		①土づくりセンターの建設	②地産地消やグリーンツーリズムの促進	③関係機関と連携したイベントの開催	④企業の誘致と無料職業紹介所の開設	⑤葉菜山を中心とした観光施設の整備	⑥農地・水環境保全活動等の実施	⑦割増商品券発行への補助	⑧その他	無回答	計
良かった	回答数	66	99	173	121	168	50	99	10	137	923
	割合	7.2%	10.7%	18.7%	13.1%	18.2%	5.4%	10.7%	1.1%	14.8%	100.0%
良くない	回答数	74	21	45	36	110	87	231	25	294	923
	割合	8.0%	2.3%	4.9%	3.9%	11.9%	9.4%	25.0%	2.7%	31.9%	100.0%
差引き	回答数	-8	78	128	85	58	-37	-132	-15	-157	0





『良かった』と思う事業の回答数から『良くない』と思う事業の回答数を差引すると、  
「③関係機関と連携したイベントの開催」(128件)、「④企業の誘致と無料職業紹介所の開設」(85件)、「②地産地消やグリーンツーリズムの促進」(78件)、「⑤薬菜山を中心とした観光施設の整備」(58件)、「①土づくりセンターの建設」(-8件)、「⑤農・地・水・環境保全活動の実施」(-37件)、「⑦割増商品券への補助」(-132件)の順になりました。

「IV. 魅力・やりがいでのぎわいのあるまち」について

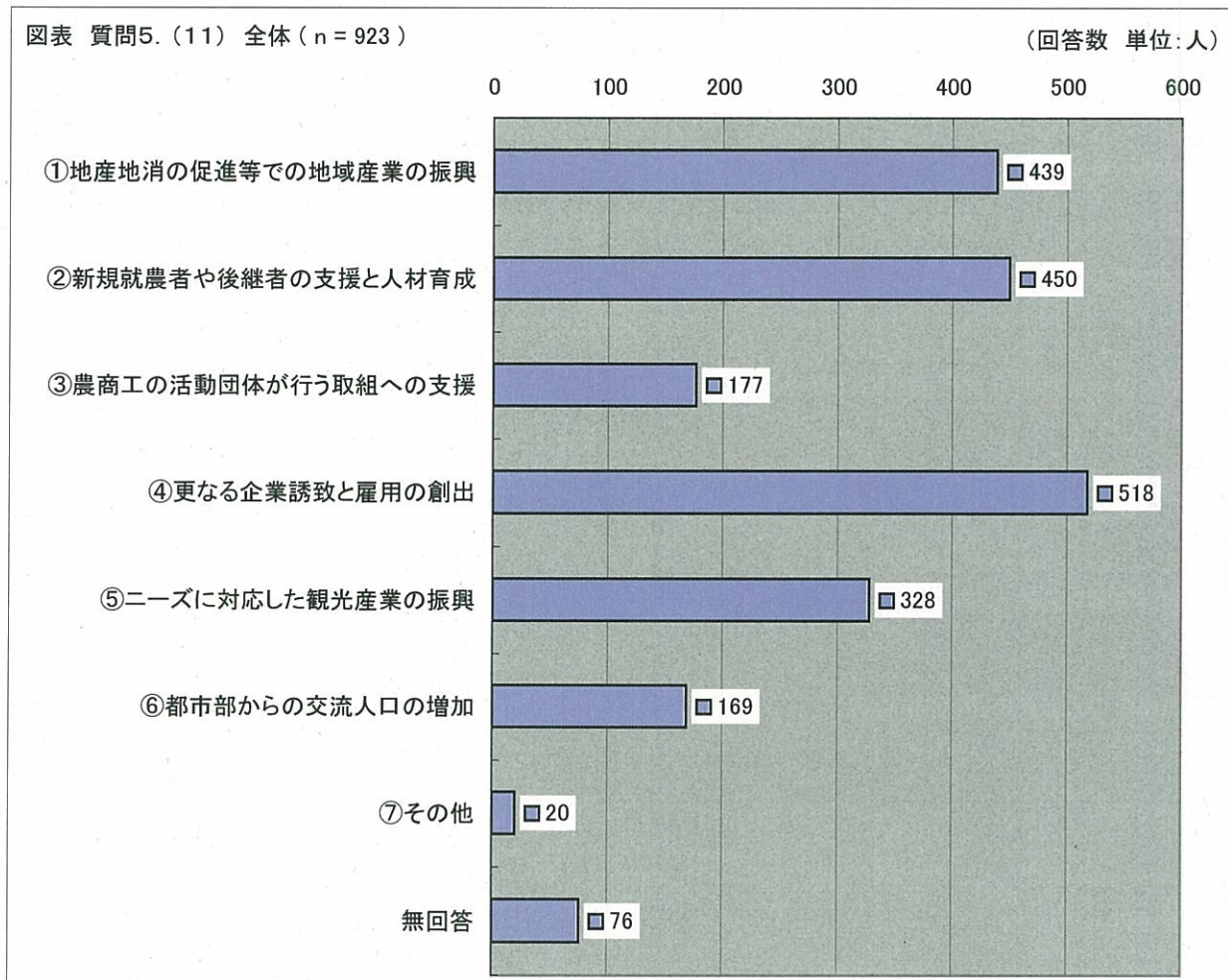
(11) 農林・商工の分野で、今後重点的に実施すべきと考える施策を以下の中から選んでください。(3つまで選択)

全体 (n = 923)

	①地産地消の促進等での地域産業の振興	②新規就農者や後継者の支援と人材育成	③農商工の活動団体が行う取組への支援	④更なる企業誘致と雇用の創出	⑤ニーズに対応した観光産業の振興	⑥都市部からの交流人口の増加	⑦その他	無回答	計
回答数(人)	439	450	177	518	328	169	20	76	2,177
割合	47.6%	48.8%	19.2%	56.1%	35.5%	18.3%	2.2%	8.2%	235.9%

図表 質問5. (11) 全体 (n = 923)

(回答数 単位: 人)



集計の結果から、農林・商工の分野で、今後、町が重点的に実施してほしい施策の順位は、「④更なる企業誘致と雇用の創出」（518件）、「②新規就農者や後継者の支援と人材育成」（450件）、「①地産地消の促進等での地域産業の振興」（439件）、「⑤ニーズに対応した観光産業の振興」（328件）、「③農商工の活動団体が行う取組への支援」（177件）、「⑥都市部からの交流人口の増加」（169件）、「⑦その他」（10件）になります。

